

ギリシャ概況(2019 年 1 月号)

1. 内政

- ・13 日 FYROM国会における憲法改正案承認を受け、連立与党ANELが政権離脱を発表した。
- ・14 日 クドゥラ観光相が ANEL から除名され、無所属となった。
- ・同日 コカリス農業開発・食糧政務官が ANEL からの離党を表明し、無所属となった。
- ・15 日 国防省にてカメノス前国防相からアポストラキス新国防相への引き継ぎ式が行われた。
- ・同日 コンスタンティノス・バルバルシス無所属議員が黄金の夜明けに入党した。
- ・16 日 ギリシャ国会が政府信任案を賛成151票、反対148票、棄権1票で可決した。
- ・21 日 PASOKとともに民主連合(DISY)を形成していた民主左派(DIMAR)は、プレスペス合意を支持する立場であることを理由にDISYから協力解消を通告された。
- ・同日 プレスペス合意に反対しているプサリアノス議員及びアミラス議員がポタミから離脱した。これにより、ポタミは国会で政党として認められる5議席を満たさなくなり、同党議員は全員無所属となった。
- ・25 日 ギリシャ国会がプレスペス合意を賛成153票、反対146票、棄権1票で批准した。

2. 外政

- ・10～11 日 メルケル独首相がギリシャを訪問し、チプラス首相、パヴロプロス大統領及びミツォタキスND党首と会談した。
- ・16～17 日 モスコビシ欧州委員(経済担当)がギリシャを訪問し、ドラガサキス副首相兼経済・開発大臣、ツァカロツス財務大臣、アクチオグル労働・社会保障・社会連帯大臣、スタサキス環境・エネルギー大臣らと会談した。
- ・18 日 グルシコ露外務次官がギリシャを訪問し、カトウルガロス副外相と会談した。
- ・29 日 ミュッカネン・フィンランド内務大臣がギリシャを訪問し、イエロヴァシリ市民擁護省大臣と会談した。
- ・同日 カタイネン欧州委員会副委員長(兼雇用・成長・投資・競争力担当)がギリシャを訪問し、ドラガサキス副首相兼経済・開発大臣と会談した。
- ・29～30 日 チプラス首相が南欧諸国首脳会合(於:キプロス)に出席した。更に本会合の-marginにて、アナスタシアディス・キプロス大統領他と会談した。
- ・29～30 日 アポストラキス国防相がキプロスを訪問し、アンゲリディス国防相と会談した。

・31～2月1日 カトウルガロス副外相が非公式のEU外相会合(於:ルーマニア)に出席した。

・31～2月1日 アポストラキス国防相が非公式のEU国防相会合(於:ルーマニア)に出席した。

3. 移民・難民問題

1月には陸路でギリシャに到着する移民・難民の数が800名、島嶼部に到着する者の数が1,870名となり、移民・難民の流入数が前月(2018年12月)の3,950名より減少した。

1月31日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は72,300名(UNHCR発表)。

4. 経済

(1) 経済動向

・19日 格付け会社スタンダードアンドプアーズ社がギリシャの国債格付け評価をB+で据え置きし、見通しも変わらず「ポジティブ」とした。

・21～25日 欧州委員会(EC)、欧州中央銀行(ECB)、欧州安定基金及びIMFから構成される債権団がポスト支援プログラム・モニタリング(PPM)第2次審査のため、アテネを訪問し、ツァカロツス財務大臣、フリアラキス財務副大臣、アクチオグル労働・社会保障・社会連帯大臣、スタサキス環境大臣、ミツォタキスND党首他と協議した。

・28日 閣議で、最低賃金を11%増加すること、25歳以下の準最低賃金を廃止することが承認された。これにより、最低賃金が現行の586.08ユーロから650ユーロとなった。なお、右最低賃金の引き上げは2月1日から適用される。

・29日 ギリシャ財務省が5年物国債を発行した。

(2) 財政

ギリシャ財務省が1月25日付で公表した2018年1月から12月の財政統計によると、昨年の財政収支は23億1,600万ユーロの赤字、同期間のプライマリーバランスは32億3,700万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は536億8,200万ユーロで政府目標を14億8,300万ユーロ(2.7%減)下回ったが、歳出は539億9,800万ユーロと政府目標より10億7,700万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の2月7日付の発表によると、12月の輸入総額は42億6,730万ユーロ(前年同月比0.2%増)、輸出総額は25億7,030万ユーロ(前年同月比2.8%増)となった。

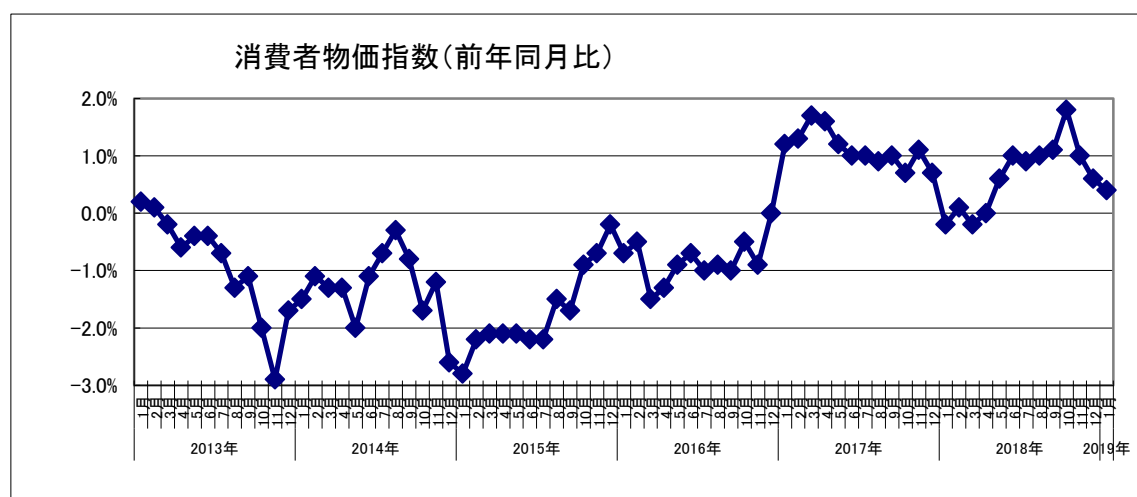
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETTE)の発表によると、11月の観光客は、44万8,274人で、前年同月比29.0%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が31万9,012人で(同27.5%増)で、テサロニキ空港が10万4,532人(同26.9%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

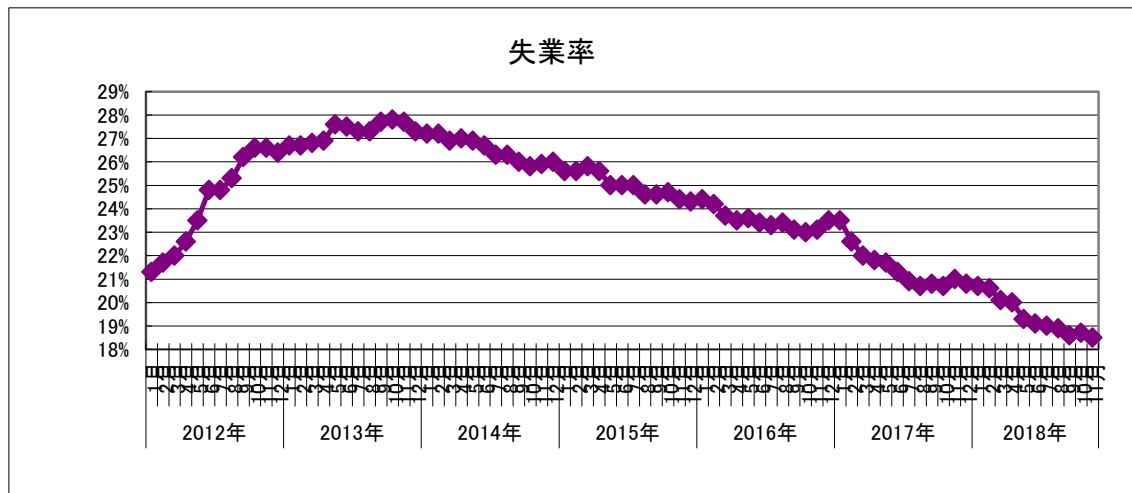
ギリシャ統計局の2月14日付の発表によると、1月の消費者物価指数は前年同月比0.4%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の2月7日付の発表によると、11月の失業率は18.5%となり、前月から0.2%減少した。



※2018年10月の失業率は、ギリシャ概況(2018年12月)公表後、ギリシャ統計局により18.6%から18.7%に修正されており、本号では当該修正後の数字を使用した

(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECDのデータによると、2018年第3四半期(7月～9月)の実質GDP成長率は前年同期比プラス2.2%となった。



(出典:OECD)

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。

(了)